



平成 29 年 9 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 29 年 5 月 12 日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東
 コード番号 2931 URL <http://www.euglena.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出雲 充
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務・経営戦略担当 (氏名) 永田 暁彦 (TEL) 03 (3454) 4907
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 5 月 12 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成 29 年 9 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 9 月期第 2 四半期	6,628	26.7	277	△39.0	446	△17.8	301	△29.7
28 年 9 月期第 2 四半期	5,230	105.7	454	140.3	543	74.2	428	120.9

(注) 包括利益 29 年 9 月期第 2 四半期 302 百万円 (△25.8%) 28 年 9 月期第 2 四半期 408 百万円 (104.7%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29 年 9 月期第 2 四半期	3	64	3	62
28 年 9 月期第 2 四半期	5	22	5	12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 9 月期第 2 四半期	17,057	13,746	80.4
28 年 9 月期	15,526	13,422	86.3

(参考) 自己資本 29 年 9 月期第 2 四半期 13,714 百万円 28 年 9 月期 13,392 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28 年 9 月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
29 年 9 月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
29 年 9 月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 29 年 9 月期の連結業績予想 (平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	15,000	35.1	820	18.2	1,100	16.5	690	2.5	8	36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年9月期2Q	83,062,216株	28年9月期	82,627,216株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年9月期2Q	137,901株	28年9月期	137,901株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年9月期2Q	82,790,139株	28年9月期2Q	82,159,405株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年10月1日～平成29年3月31日)におけるわが国の経済は、企業業績の改善、雇用情勢の改善がみられ景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、英国のEU離脱問題や米国の政策転換の影響などにより、依然として先行きが不透明な状況です。

当社グループの主力事業であるヘルスケア業界は、高齢社会の進展とともに、中高年齢層を中心とした健康維持・増進、美容・アンチエイジング、エイジングケアへの高い意識を背景に、特に通信販売を中心に市場規模を拡大しております。一方、参入企業の増加により企業間の競争は厳しさを増しております。

このような事業環境のもと、当社グループでは、ヘルスケア製品の販売を積極的に推進するとともに、ユーグレナを利用したバイオ燃料の開発、ユーグレナの食品としての新機能的な解明、低コスト化へ向けたユーグレナ自体の改良技術に関する研究開発を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、主にOEM商品及び自社化粧品の販売が順調に推移し、売上高は6,628,301千円(前年同期比26.7%増)となり、自社化粧品の定期顧客獲得のための広告宣伝活動を拡大した結果、営業利益は277,135千円(同39.0%減)、経常利益は446,261千円(同17.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は301,406千円(同29.7%減)となりました。

なお、前第2四半期連結会計期間から当第2四半期連結会計期間までの各四半期の業績推移は、以下のとおりです。

	前第2四半期 連結会計期間	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	当第2四半期 連結会計期間
売上高(千円)	2,890,227	2,951,940	2,921,281	3,273,006	3,355,294
営業損益(千円)	423,381	351,565	△111,896	278,294	△1,159
経常損益(千円)	467,918	476,448	△75,169	302,338	143,922

セグメント別の状況については、以下のとおりです。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業の食品分野においては、主にOEM商品の販売が順調に推移いたしました。また、自社製品の定期購入顧客拡大のための販売体制を強化するとともに、グループ会社間で物流センター等のインフラを共有するなど、販売コストの削減に努めました。さらに、当第2四半期連結累計期間において、顧客基盤の拡大と、クロレラ製品の製造委託や統合によるコスト削減等を目的として、クロレラ製造販売会社である株式会社クロレラサプライを完全子会社化しております。

ヘルスケア事業の化粧品分野においては、自社のスキンケア化粧品ブランド「one」の販売が好調であることから、同ブランドの販売体制を強化しております。

ヘルスケア事業の海外展開においては中国上海市の上海悠緑那生物科技有限公司において、中国市場における「ユーグレナ」食品市場の創設に向けて主にOEM供給を中心に取引先の拡大に努めました。

ヘルスケア事業の研究開発においては、ユーグレナの食品としての機能の解明を進めております。また、ユーグレナの特有の成分であるパラミロンを継続摂取することにより、肝硬変や肝臓がんの発症につながる恐れがある非アルコール性脂肪性肝炎による肝臓の線維化を抑制することを示唆する研究成果を公表しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、連結売上高6,623,301千円(前年同期比26.7%増)、セグメント利益は721,514千円(同17.5%減)となりました。

(エネルギー・環境事業)

エネルギー・環境事業においては、バイオジェット燃料開発を中心に研究開発活動を継続しており、内閣府の「革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)」における研究開発プログラム「セレンディピティの計画的創出による新価値創造」、国土交通省の「下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)」の委託事業に係る研究開発を進捗させました。

当第2四半期累計期間においては、経済産業省資源エネルギー庁の「微細藻類燃料生産実証事業費補助金」を活用し、燃料用微細藻類培養プールを多気クリスタルタウン(三重県多気郡多気町)に建設し、燃料用微細藻類の大規模、低コスト生産技術の確立を目指す研究開発活動を開始しました。また、千代田化工建設株式会社との間でバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラントの設計・調達・建設に関する工事等請負契約を締結し、国産バイオジェット・ディーゼル燃料の実用化に向けた設備投資を進めております。

以上の結果、主にバイオジェット燃料開発を目的とした研究開発活動により、連結売上高5,000千円(前年同期比114.6%増)、セグメント損失は133,290千円(前年同四半期はセグメント損失93,673千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は17,057,485千円となり、前連結会計年度末と比較して1,531,479千円の増加となりました。これは主に、新規連結子会社の株式会社クロレラサプライの資産の受入及びのれん255,760千円の計上によるものであります。

負債は、借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末から1,207,953千円増加し、3,311,229千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末から323,526千円増加し、13,746,255千円となりました。この結果、自己資本比率は80.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から240,103千円増加し、7,024,144千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益444,562千円の計上等があったものの、たな卸資産の増加422,584千円、法人税等の支払198,208千円等により、383,141千円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の償還による収入2,200,000千円等の収入があったものの、有形固定資産の取得による支出2,417,927千円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出424,613千円等により、687,106千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1,329,000千円等により、1,299,266千円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間については、売上高、営業利益、経常利益ともに計画通りに進捗しております。

平成28年11月9日「平成28年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,799,181	7,034,144
受取手形及び売掛金	1,059,042	1,173,051
有価証券	2,404,967	401,631
商品及び製品	577,447	880,548
仕掛品	5,462	102,042
原材料及び貯蔵品	268,867	365,465
繰延税金資産	119,929	161,844
その他	123,420	387,139
貸倒引当金	△3,415	△6,584
流動資産合計	11,354,902	10,499,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	877,061	1,639,410
機械装置及び運搬具	362,061	1,009,274
工具、器具及び備品	186,352	264,367
土地	929,988	900,520
リース資産	32,455	32,455
建設仮勘定	896,071	2,341,286
減価償却累計額	△811,663	△1,421,540
有形固定資産合計	2,472,327	4,765,773
無形固定資産		
のれん	730,301	937,571
その他	507,321	492,356
無形固定資産合計	1,237,623	1,429,927
投資その他の資産		
投資有価証券	289,342	101,409
差入保証金	72,796	157,289
繰延税金資産	48,973	50,992
その他	50,039	52,809
投資その他の資産合計	461,152	362,500
固定資産合計	4,171,103	6,558,202
資産合計	15,526,005	17,057,485

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	247,521	411,470
短期借入金	12,651	145,635
未払金	983,171	726,537
リース債務	4,110	3,193
未払法人税等	233,848	250,583
賞与引当金	17,520	26,002
資産除去債務	-	19,663
その他	112,822	137,890
流動負債合計	1,611,645	1,720,976
固定負債		
長期借入金	59,468	1,207,652
リース債務	3,825	2,547
退職給付に係る負債	10,069	8,607
資産除去債務	49,363	29,752
繰延税金負債	368,905	338,125
その他	-	3,568
固定負債合計	491,630	1,590,253
負債合計	2,103,276	3,311,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,862,520	4,871,880
資本剰余金	6,685,910	6,695,270
利益剰余金	2,090,961	2,392,367
自己株式	△231,396	△231,396
株主資本合計	13,407,995	13,728,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△213	316
為替換算調整勘定	△15,608	△13,452
その他の包括利益累計額合計	△15,822	△13,135
新株予約権	15,360	17,232
非支配株主持分	15,196	14,037
純資産合計	13,422,729	13,746,255
負債純資産合計	15,526,005	17,057,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	5,230,008	6,628,301
売上原価	1,396,356	1,692,311
売上総利益	3,833,651	4,935,989
販売費及び一般管理費	3,379,365	4,658,854
営業利益	454,285	277,135
営業外収益		
受取利息	15,179	11,769
助成金収入	39,065	120,187
受取手数料	15,776	15,045
持分法による投資利益	7,404	10,824
その他	12,920	13,669
営業外収益合計	90,346	171,496
営業外費用		
支払利息	1,002	1,501
株式交付費	387	299
その他	14	569
営業外費用合計	1,404	2,370
経常利益	543,227	446,261
特別利益		
新株予約権戻入益	54	—
特別利益合計	54	—
特別損失		
固定資産売却損	—	1,699
特別損失合計	—	1,699
税金等調整前四半期純利益	543,281	444,562
法人税、住民税及び事業税	213,812	196,388
法人税等調整額	△91,199	△51,496
法人税等合計	122,613	144,891
四半期純利益	420,668	299,670
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,811	△1,736
親会社株主に帰属する四半期純利益	428,479	301,406

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	420,668	299,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,715	530
為替換算調整勘定	△9,938	2,733
その他の包括利益合計	△12,654	3,263
四半期包括利益	408,014	302,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	419,329	304,093
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,315	△1,159

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	543,281	444,562
減価償却費	97,220	154,558
のれん償却額	43,896	48,491
貸倒引当金の増減額(△は減少)	73	2,967
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,410	8,482
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,008	△1,461
受取利息	△15,179	△11,770
助成金収入	△39,065	△120,187
新株予約権戻入益	△54	—
支払利息	1,002	1,501
株式交付費	387	299
持分法による投資損益(△は益)	△7,404	△10,824
売上債権の増減額(△は増加)	△498,993	△69,519
たな卸資産の増減額(△は増加)	△54,362	△422,584
仕入債務の増減額(△は減少)	89,531	136,913
未払金の増減額(△は減少)	266,394	△252,397
その他	△431,198	△113,727
小計	△4,068	△204,698
利息の受取額	22,405	15,470
助成金の受取額	43,554	5,796
利息の支払額	△1,002	△1,501
法人税等の支払額	△263,446	△198,208
営業活動によるキャッシュ・フロー	△202,558	△383,141
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△34,780	△10,000
定期預金の払戻による収入	—	16,298
有形固定資産の取得による支出	△372,502	△2,417,927
有形固定資産の売却による収入	—	48,048
無形固定資産の取得による支出	△73,195	△14,573
投資有価証券の取得による支出	△15,000	—
有価証券の売却及び償還による収入	360,000	2,200,000
差入保証金の差入による支出	△5,697	△84,338
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△424,613
その他	550	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,624	△687,106
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△186,712	—
長期借入れによる収入	—	1,329,000
長期借入金の返済による支出	△3,504	△47,832
リース債務の返済による支出	△2,795	△2,194
株式の発行による収入	56,437	18,421
新株予約権の発行による収入	2,530	1,872
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,044	1,299,266
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,671	11,084
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△485,899	240,103
現金及び現金同等物の期首残高	6,221,236	6,784,041
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,735,337	7,024,144

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	5,227,677	2,330	5,230,008	—	5,230,008
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,227,677	2,330	5,230,008	—	5,230,008
セグメント利益又は損失(△)	874,375	△93,673	780,702	△326,416	454,285

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△326,416千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ヘルスケア事業において、前連結会計年度に株式会社ユーグレナ・アート、及び株式会社エポラの株式取得にともない暫定的に算出されたのれん1,123,544千円を計上していましたが、取得原価の配分が完了し、841,942千円に変動しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,623,301	5,000	6,628,301	—	6,628,301
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,623,301	5,000	6,628,301	—	6,628,301
セグメント利益又は損失(△)	721,514	△133,290	588,223	△311,088	277,135

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△311,088千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。